

# 市民活動団体

## 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。掲載申込みの詳細は、市HPをご覧ください。  
◎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索

5月1日号への掲載の申込みは、3月23日(木)までに電子申請

(電子申請がご利用いただけない場合は、申込用紙を広報情報課 FAX 983・2719)

電子申請はこちら▶

(<https://logofom.jp/form/pqff/143867>)



※「電子申請」からお申込みください。

広報みしま	締切日
6月1日号	4月21日(金)
7月1日号	5月26日(金)
8月1日号	6月23日(金)

### 【申込みの注意事項】

- ・紙面に限りがあるため、掲載できない場合や、内容を省略する場合があります。了承のうえ、お申込みください。
- ・掲載の可否は原稿の確認の連絡をもって代えるものとし、掲載不可の場合は連絡しません。
- ・掲載は無料
- ・掲載基準を必ず確認し、了承のうえでお申込みください。

※掲載基準などの詳細は市ホームページ▶



## 文化

### 佐野美術館友の会恒例行事 「友の会作品展」

時 3月21日(火・祝)～26日(日)午前10時～午後5時(21日は午後1時から、26日は午後3時まで) 生涯学習センター3階・市民ギャラリー、多目的ホール 日本画、陶芸、墨絵、洋画の展示 無料 佐野美術館友の会・中島 ☎975・0129

## スポーツ・健康

### 三島ジュニアバドミントンクラブ 会員募集

時 4月～令和6年2月毎週土曜日午前9時～正午 陽東小学校体育館 年齢・技術に応じて講師が指導を行い、バドミントン技術向上および子どもの運動能力向上を目指します。 費 ▶年会費1万2,000円▶入会金1,000円▶保険料800円 新小学3～5年生 先着30人 室内運動靴 3月11日(日)より三島市バドミントン協会HPにて受付開始 三島市バドミントン協会・野田 ☎090・6808・6165

### 初心者弓道教室生募集

時 4月4日～7月11日毎週火曜日午後7時～9時(全15回) 陽市民体育館・弓道場 費6,000円 18歳以上 20人 3月28日(火)までに往復はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し 奈良信一 ☎411・0842 南町8・23 ☎973・4677

### ミニバスケットボール教室 生徒募集

時 4月8日～令和6年3月23日毎週土曜日午前9時30分～11時30分 陽市民体育館、北上小体育館 基本練習、練習試合 費1万円(会場費、保険料など) 新小学4年生 25人 3月20日(日)までに往復はがきに①児童氏名、性別②住所③電話番号④保護者氏名⑤学校名を記入し 中村龍 ☎411・0801 谷田2023・30 ☎972・0886

### 日本空手道陽明会三島支部 糸東流 門下生募集

「知行合一」知識と行動は同じものであり、本当の知とは必ず行為をとまなう…を理念とし、空手道を通して社会性を学びましょう。 毎月6回(金曜日4回、火曜日2回) 午後7時～8時50分(1カ月無料体験あり) 陽市民体育館、徳倉公民館、

中郷公民館 子ども月2,500円 園松下 ☎090・6762・7739

## その他

脳がいきいき若がえる  
シニアのための脳トレピアノ お仲間募集  
時 毎月第1火曜日午前10時15分～11時45分(無料体験会:3月28日(火)) 陽見晴台自治会館・わいわいホール シニアのための脳トレピアノ、脳がいきいき若がえる。指の体操や脳トレゲームで笑って楽しくお仲間と一緒にピアノを弾きましょう。(キーボード使用) 費月2,000円※別途、楽器レンタル料300円 60歳程度から 用・ 3月20日(月)までに 浅野 ☎080・3634・6239

### 上岩崎公園桜祭り

時 3月25日(日)午前10時～午後3時※小雨決行、荒天中止 陽上岩崎公園(文教町) 地域の居場所、交流の場をつくるイベント。ハンドメイドショップやキッチンカーの出店あり。 費入場無料 市内在住の人 陽コミュニティスペース・ジモット ☎986・2133(火～金曜日午後1時～4時)

### '23 登山・ハイキング講座 受講生募集

時 3月25日(日)～令和6年3月24日(日)午後1時30分～3時30分 陽錦田公民館 山の歩き方、楽しみ方、地図および天気図の見方や危機管理などを、1年かけて座学と実技で学びます。 費3,900円※別途、交通費および宿泊費、避難保険料 22人 用・ 3月24日(日)までに 根上 ☎971・9660

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

# 歴史の小箱

No.417

## 勘兵衛が見た山中城(四)

広報みしま令和4年12月1日号、勘兵衛が見た山中城(三)の続きで、二の丸に敵と入り交じって侵入した後の記述になります。

郷土資料館(楽寿園内) ☎971-8228

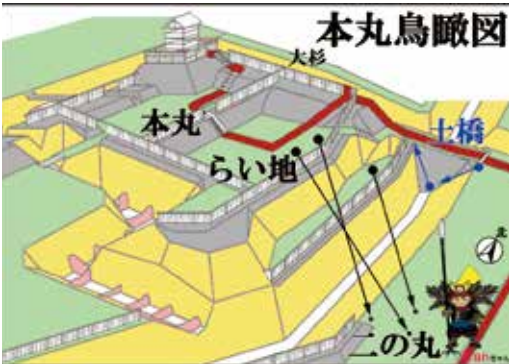
郷土資料館では、5月28日(日)まで企画展「三島ゆかりの文化人たち」を開催しています。

勘兵衛が記述する二の丸に入ると、目に飛び込んできたのは「鎧武者所々に群れ立ち」とあり、敗走する兵の中にはすでに戦意を無くして立ちつくす者もいたように感じます。さて、二の丸は本丸の手前にあり比較的平坦で長い曲輪(图中①)です。通常の山城では二分割したほうが守りの観点から有効なのですが、現時点における堀掘調査では、尾根を分断する堀跡は発見できていません。当時この大空間が必要だった理由を少し考えてみましょう。山中城廃城後には、徳川家康により東海道へ変更します。ではそれ以前は峠越えの道はな



▲勘兵衛の記述する二の丸

かったのでしょうか。当時は山中城を造るため、あるいは小田原城と韮山城の連絡道として、「箱根路」が現在の箱根旧街道(石畳の付近に整備されています)と。連絡道ができれば物資の移動は頻繁になるため、山中城は道を城内に取り込み「関所」としての監視機能も担っていたと考えられます。戦国でも江戸時代でも箱根山は重要な地点であり、家康は箱根宿に、北条氏は山中城に関所を作ったのではないのでしょうか。さて、二の丸の記述は続きます。「かまへの戌亥(北西)に「土居高き所に大杉:所より(土壁の高い所から鉄砲がたくさん撃ちかけられた)」と記してい



▲本丸鳥瞰図

ます。そこを「本丸」と勘兵衛は確信しました。二の丸の途中から本丸の大杉のところまでは記述がありません。現在は土橋があつてすんなりと入ることができですが、当時は堀底まで下りてまた上っていた可能性が高い所です。江戸時代の絵図では土橋がなく、廃城後駒形・諏訪神社の分祀と同時に土橋が作られたと判断できます。勘兵衛が大杉のある場所に上って、矢切(塀)の上より西側の本丸内を覗いた後の記述は次回に続きます。(今回の「勘兵衛が見た山中城」は5月1日号で掲載予定) ※本文章は正式報告とは異なり、現時点では説にとどまります。

## わたしのおじいちゃん

当番 みぞぐち れいな さん

私のおじいちゃんは、優しくて、物知りです。私が宿題のわからない所をわかりやすく教えてくれます。その他にも、地域のスクールガードをしています。朝私たちが学校に行く時に私の家の前に立っています。そして道を通った人にあいさつをしています。この活動は、私が小学校に入るより前からやっています。私は、あいさつをすることで、少し明るい気持ちになります。私は、これからもおじいちゃんにスクールガードを続けてもらいたいし、これからも元気でいてほしいです。



源口 忠孝 (80才)  
溝口 怜奈 (東小)